

若林障害者福祉センター

障害者福祉「キャップハンディ体験」教室を開催しました

令和3年7月15日

仙台市若林障害者福祉センター

去る令和3年7月15日（木）、仙台市立蒲町小学校体育館にて、障害者福祉「キャップハンディ体験」教室を開催しました。

今回は蒲町小学校4年生108名の児童に対して車いす体験・白杖体験を行いました。

体験後、児童たちからは、「声掛けがの大切さがわかった」「段差を超える事に夢中になると声をかけるのを忘れてしまって大変だった」「白杖で歩くと怖かった」などの感想が聞かれました。また、「白杖を使う人のお手伝いをする時はどの位置に立てばいいですか」「車いすに乗った時誰も手伝ってくれる人がいなかったらどうやって段差を超えますか」「車いすバスケの車いすと普通の車いすの違いは何ですか」など、様々な質問がありました。児童たちは車いすの方や目の見えない方の生活についてとても興味を持っており、質問の回答を聞く際は身をのりだして真剣に話を聞いていました。

今回の体験教室が児童たちにとって障害理解の促進と豊かな感性を育むよい時間となったのではないかと思います。

